アクセス数10万人目クイズへの応募御礼と応募手続きの確認について

田中野田町内会ホームページへのアクセス数が、間もなく１０万人目を迎えるにあたり、その「達成日予想クイズ」を実施しましたところ、町内の皆さんから、多数のご応募をいただき誠にありがとうございました。

つきましては、ご応募されました皆さんに、受付の返信メールを送信させていただいております。もし、応募したけれど、受付の返信メールが届いていないという方は、何らかの理由で応募の手続きができておりません。誠に申し訳ありませんが、７月１５日（木）までに下記のホームページ委員までご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。

ホームページ委員
２組：和気博子
７組：和気佳美
９組：田中建治

私の趣味

海釣り

3組　和気茂樹

私が釣りを始めたのは今から２年ぐらい前です。きっかけは、毎週日曜日に宇野沖の島や磯に渡船で釣りに行っている会社の友人が、ある日、私に「釣りに行かないか」と誘ってくれたことです。私は「釣りは難しそうだし、あまり器用ではないので」と、最初は断りましたが、再び、その友人が「和気さん僕に騙されたと思って、四国の三本松に釣りに行こう」と誘われ、ついて行くことにしました。

そこで、釣りに行く前日の土曜日に、釣り具屋で竿１本とリール·仕掛、それと餌を買ってきました。そして、友人３人と翌日の夜中の２時半頃、三本松に向けて出発しました。フェリーを乗り継いで朝５時３０分頃三本松港に着きました。それから渡船で５分ぐらいの一文字波止で初めての釣りをすることになりました。釣り始めてなかなか魚が釣れません。餌を付け替える作業の繰り返しで「釣りとはこんなものか」と思いました。隣の釣り場では友人たちが「カレイ」とか「チヌ」を釣り上げていたので、見ていると私も釣れればいいのにと羨ましかったです。

ところが、しばらくすると、私の竿先が少し動いたので竿を高く上げてリールを巻いてみると細長い魚が釣れていました。うれしかったです。友人に魚の名を聞くと「キス」というそうです。自分が最初に釣った魚だから感動しました。そして、午後１時になったので片付けをして少しして渡船が迎えに来ました。楽しかったです。私はこのとき「キス」一匹でしたが、だんだんと釣りに夢中になっていきました。

普通、岡山で海釣りと言うと、牛窓·九蟠·渋川·下津井と陸続きのところが有名ですが、私がいつも行っているのは、宇野沖の島の砂浜や波止に 2,500円の渡船料を払って渡っています。理由は、島の砂浜や波止が自分一人の釣り場になるからです。そして、釣った魚はきれいだし、海を見ていると気持ちがいいです。そして渡船で一緒に行っている人と魚釣りの話をしたり、世間話をするのも楽しみです。

最後に、６月１３日に釣り大会があり、私は初めて「マダイ」を釣りました。26.5 ㎝と少し小さいけど良かったです。